



2024年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年5月15日

上場会社名 株式会社シンシア
コード番号 7782 URL <https://www.sincere-vision.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 中村 研

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部長 (氏名) 荒井 慎一 TEL 03(5615)9059

四半期報告書提出予定日 2024年5月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第1四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	1,523	3.9	70	24.6	77	34.7	34	58.2
2023年12月期第1四半期	1,584	16.9	93	145.7	118	79.9	82	85.3

(注) 包括利益 2024年12月期第1四半期 188百万円 (93.5%) 2023年12月期第1四半期 97百万円 (26.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	5.44	5.42
2023年12月期第1四半期	13.09	13.04

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第1四半期	5,314	2,508	47.2
2023年12月期	5,400	2,483	44.6

(参考) 自己資本 2024年12月期第1四半期 2,508百万円 2023年12月期 2,410百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年12月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期		0.00		14.00	14.00
2024年12月期(予想)		0.00		12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,353	6.6	386	2.5	374	16.1	246	16.6	38.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年12月期1Q	6,862,200 株	2023年12月期	6,862,200 株
-------------	-------------	-----------	-------------

期末自己株式数

2024年12月期1Q	496,912 株	2023年12月期	519,412 株
-------------	-----------	-----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年12月期1Q	6,346,161 株	2023年12月期1Q	6,301,766 株
-------------	-------------	-------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症による影響も緩和され、正常な経済活動へと戻りつつあります。しかしながら不安定な国際情勢による資源・エネルギー価格の高騰や為替変動による物価上昇など、先行きは不透明な状況が継続しております。このような環境下、当社は、外部環境の変化に対し耐性のある事業を推進することで収益の確保に注力いたしました。

コンタクトレンズ業界におきましては、急速な少子高齢化に伴う人口減少が進んでいるものの、1日使い捨てタイプコンタクトレンズへのニーズのシフトや、高機能新素材レンズの普及により1人当たりの購入単価は上昇傾向にあります。またスマートフォン等、デジタル機器の普及により近視人口の急激な増加・若年化が進んでいます。さらに、カラーコンタクトレンズ市場の拡大等もあり、コンタクトレンズ市場は緩やかながら拡大するものと推測しております。このような環境の下、各メーカー間における価格、販路、広告戦略等々の競争が激化していることに加え、市場のニーズから乱視用、遠近両用などの多機能レンズが発売されるなど製品力強化の必要性も高まっており、当社もそれらに対応すべく販売力、製品力強化に注力しております。コンサルティング事業については事業運営委託を受けた医療脱毛クリニックの業績も堅調に推移しております。また、今年度から新たなセグメントとして加わったシステム事業においては、2023年11月にM&Aにて獲得したリユース業界向けPOSシステムのリーディングカンパニーである、株式会社タロスシステムズの業績を、当第1四半期連結累計期間より連結しております。

このような状況下、コンタクトレンズ事業においてプライベート商品として販売するカラーレンズが、市場環境の悪化により大幅に減少し、売上高は1,523,339千円（前年同期比3.9%減）、売上総利益は円安進行の影響によりコンタクトレンズ事業は減益となったものの新セグメントのシステム事業において利益を創出し474,239千円（同2.0%増）となりました。営業利益はのれん償却費やM&A手数料等の増加により70,337千円（同24.6%減）、経常利益は77,567千円（同34.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は34,491千円（同58.2%減）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。なお、前連結会計年度末より新たに報告セグメントとして追加したシステム事業については、前年同期比較は行っておりません。

(コンタクトレンズ事業)

当社ブランド商品につきまして、クリアレンズは当社主力商品であるシリコーンハイドロゲル素材コンタクトレンズ「シンシアワンデーS」が眼科医、ユーザーから高評価を得たことから取扱店舗数も継続して伸長し、売上高は331,992千円（前年同期比5.2%増）となり、結果、クリアレンズの売上高は753,130千円（同4.3%増）となりました。カラーレンズは、市場需要の高まりと、クリアレンズ同様、シリコーンハイドロゲル素材の「シンシアワンデーSクレシェ」が81,520千円（同40.3%増）と大幅に増加したことに加えて、「シンシア2ウィークSクレシェ」の売上も好調に推移し173,780千円（同16.6%増）となりました。プライベートブランド商品の売上高につきましては、クリアレンズは、421,715千円（同12.0%増）と増加したものの、カラーレンズは、市場環境悪化による売上の落込みにより63,332千円（同80.4%減）と大幅に減少いたしました。その結果、コンタクトレンズ事業の売上高は1,413,399千円（同10.0%減）となりました。セグメント利益は、円安の進行による影響を受け132,464千円（同5.8%減）となりました。

(コンサルティング事業)

コンサルティング事業につきましては、2022年末に事業譲渡を受けた、医療法人緑風会が運営する医療脱毛クリニックの運営管理サポートによるもので、売上高は15,000千円（前年同期は15,000千円）、セグメント利益は7,066千円（前年同期比100.5%増）となりました。

(システム事業)

システム事業につきましては、今後、市場ニーズの高まりにより成長が見込まれるリユース業界向けPOSシステムのリーディングカンパニーである、株式会社タロスシステムズの株式51%を2023年11月にM&Aにて獲得いたしました。売上高は94,940千円、セグメント利益は7,872千円となりました。なお、2024年3月に同社株式の未取得分49%を追加取得し完全子会社となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は4,500,078千円となり、前連結会計年度末に比べ433,222千円減少いたしました。これは主にデリバティブ債権が118,970千円増加したものの、現金及び預金が511,576千円、受取手形及び売掛金が61,610千円それぞれ減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は814,180千円となり、前連結会計年度末に比べ347,409千円増加いたしました。これは主に子会社である株式会社タロスシステムズの株式49%を追加取得したことよりのれんが270,852千円、デリバティブ債権が93,778千円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は5,314,258千円となり、前連結会計年度末に比べ85,813千円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は1,877,576千円となり、前連結会計年度末に比べ240,839千円減少いたしました。これは主に短期借入金150,000千円、未払法人税等67,466千円それぞれ減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は928,557千円となり、前連結会計年度末に比べ130,642千円増加いたしました。これは主に長期借入金72,942千円、繰延税金負債63,360千円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は2,806,133千円となり、前連結会計年度末に比べ110,196千円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は2,508,124千円となり、前連結会計年度末に比べ24,383千円増加いたしました。これは主に株式会社タロスシステムズを完全子会社化したことに伴い非支配株主持分が73,267千円、親会社株主に帰属する四半期純利益34,491千円の計上及び剰余金の配当88,799千円により利益剰余金が54,307千円それぞれ減少したものの、繰延ヘッジ損益が150,033千円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は47.2%（前連結会計年度末は44.6%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2024年2月14日の「2023年12月期決算短信」で公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,194,364	1,682,787
受取手形及び売掛金	1,096,944	1,035,333
商品	979,780	985,137
貯蔵品	77,474	71,815
未収還付法人税等	333	333
デリバティブ債権	193,135	312,106
外国為替差入証拠金	285,777	311,694
その他	116,619	111,974
貸倒引当金	△11,128	△11,103
流動資産合計	4,933,300	4,500,078
固定資産		
有形固定資産	56,642	55,418
無形固定資産		
のれん	332,598	603,450
その他	14,119	13,072
無形固定資産合計	346,717	616,522
投資その他の資産		
デリバティブ債権	—	93,778
繰延税金資産	14,828	198
その他	54,905	54,745
貸倒引当金	△6,321	△6,483
投資その他の資産合計	63,412	142,239
固定資産合計	466,771	814,180
資産合計	5,400,072	5,314,258

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	141,847	165,913
短期借入金	1,300,000	1,150,000
1年内返済予定の長期借入金	220,182	217,952
未払法人税等	93,843	26,376
賞与引当金	12,118	30,963
株主優待引当金	3,619	—
その他	346,806	286,370
流動負債合計	2,118,416	1,877,576
固定負債		
長期借入金	779,231	852,173
長期預り保証金	13,000	13,000
デリバティブ債務	5,659	—
繰延税金負債	23	63,384
固定負債合計	797,914	928,557
負債合計	2,916,330	2,806,133
純資産の部		
株主資本		
資本金	273,422	273,422
資本剰余金	317,193	304,903
利益剰余金	2,031,300	1,976,993
自己株式	△322,630	△305,471
株主資本合計	2,299,285	2,249,847
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	128,093	278,126
為替換算調整勘定	△16,904	△19,849
その他の包括利益累計額合計	111,188	258,277
非支配株主持分	73,267	—
純資産合計	2,483,741	2,508,124
負債純資産合計	5,400,072	5,314,258

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
売上高	1,584,959	1,523,339
売上原価	1,120,162	1,049,100
売上総利益	464,796	474,239
販売費及び一般管理費	371,523	403,902
営業利益	93,273	70,337
営業外収益		
受取利息	8,693	2,653
為替差益	—	5,663
デリバティブ評価益	21,345	2,160
その他	379	2,674
営業外収益合計	30,417	13,150
営業外費用		
支払利息	1,527	3,381
為替差損	2,787	—
株式報酬費用消滅損	108	1,868
その他	514	670
営業外費用合計	4,936	5,920
経常利益	118,753	77,567
税金等調整前四半期純利益	118,753	77,567
法人税、住民税及び事業税	32,914	23,997
法人税等調整額	3,342	11,774
法人税等合計	36,257	35,772
四半期純利益	82,496	41,795
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	7,303
親会社株主に帰属する四半期純利益	82,496	34,491

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	82,496	41,795
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	16,197	150,033
為替換算調整勘定	△1,060	△2,944
その他の包括利益合計	15,137	147,089
四半期包括利益	97,633	188,884
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	97,633	181,580
非支配株主に係る四半期包括利益	—	7,303

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報及び収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンタクト レンズ事業	コンサルテ ィング事業	システム事 業	計		
売上高						
コンタクトレンズ						
当社ブランド						
クリアレンズ	722,088	—	—	722,088	—	722,088
カラーレンズ	149,084	—	—	149,084	—	149,084
プライベートブランド						
クリアレンズ	376,415	—	—	376,415	—	376,415
カラーレンズ	322,370	—	—	322,370	—	322,370
その他	—	—	—	—	—	—
コンサルティング	—	15,000	—	15,000	—	15,000
システム	—	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	1,569,959	15,000	—	1,584,959	—	1,584,959
外部顧客への売上高	1,569,959	15,000	—	1,584,959	—	1,584,959
計	1,569,959	15,000	—	1,584,959	—	1,584,959
セグメント利益	140,550	3,525	—	144,076	△50,803	93,273

(注) 1. セグメント利益の調整額△50,803千円は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報及び収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンタクト レンズ事業	コンサルテ ィング事業	システム事 業	計		
売上高						
コンタクトレンズ						
当社ブランド						
クリアレンズ	753,130	—	—	753,130	—	753,130
カラーレンズ	173,780	—	—	173,780	—	173,780
プライベートブランド						
クリアレンズ	421,715	—	—	421,715	—	421,715
カラーレンズ	63,332	—	—	63,332	—	63,332
その他	1,440	—	—	1,440	—	1,440
コンサルティング	—	15,000	—	15,000	—	15,000
システム	—	—	94,940	94,940	—	94,940
顧客との契約から生じる収益	1,413,399	15,000	94,940	1,523,339	—	1,523,339
外部顧客への売上高	1,413,399	15,000	94,940	1,523,339	—	1,523,339
計	1,413,399	15,000	94,940	1,523,339	—	1,523,339
セグメント利益	132,464	7,066	7,872	147,404	△77,067	70,337

(注) 1. セグメント利益の調整額△77,067千円は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度において株式会社タロスシステムズを子会社化したことに伴い、前連結会計年度末より新たに報告セグメントとして「システム事業」を追加しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結会計期間において、連結子会社である株式会社タロスシステムズの株式を追加取得したことに伴い「システム事業」セグメントにおいて、のれんが286,439千円発生しております。